

森の維持管理と自然共生サイトへの取組

- ・会社概要
- ・弊社のOECMの特徴
- ・自然共生サイトを通じた期待

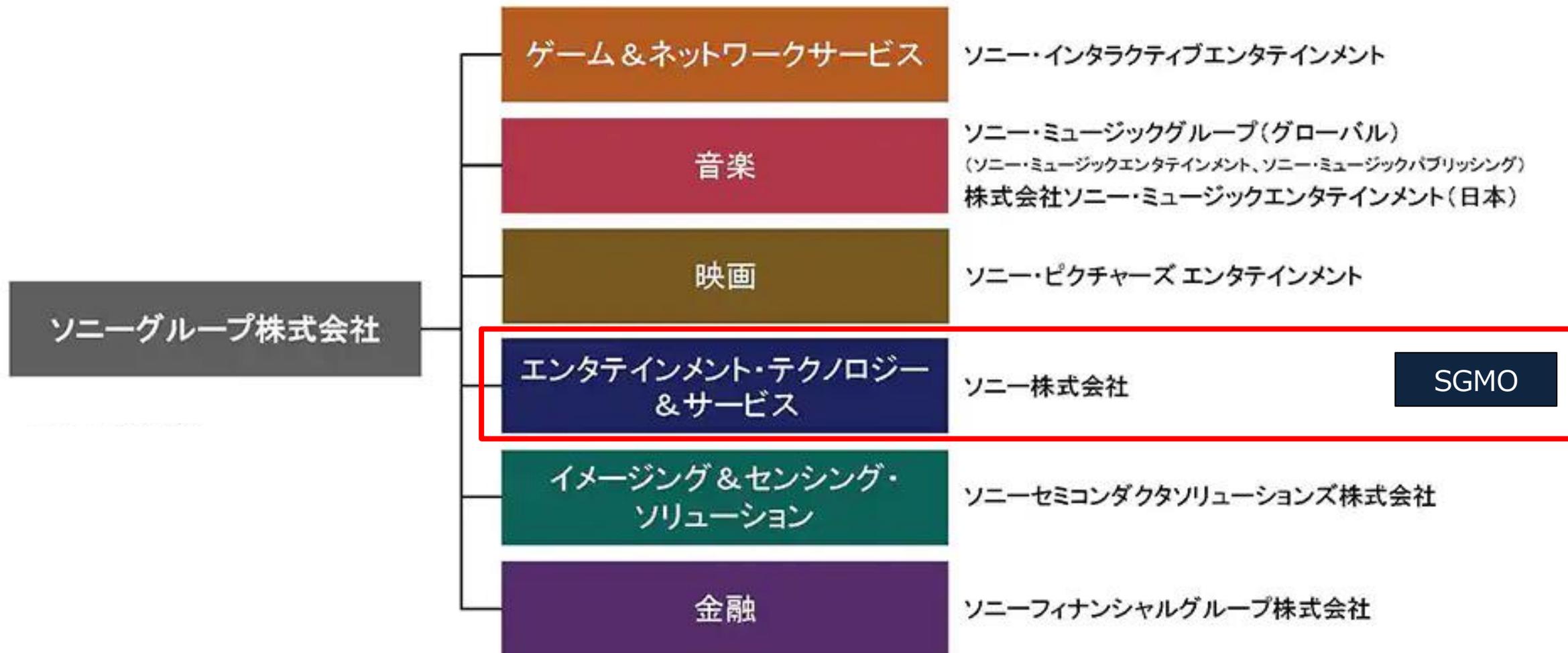
2023年1月25日

人事総務部門 総務・ファシリティ部
谷岡 修

会社概要

ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ（株）
Sony Global Manufacturing & Operations

2022年12月1日現在



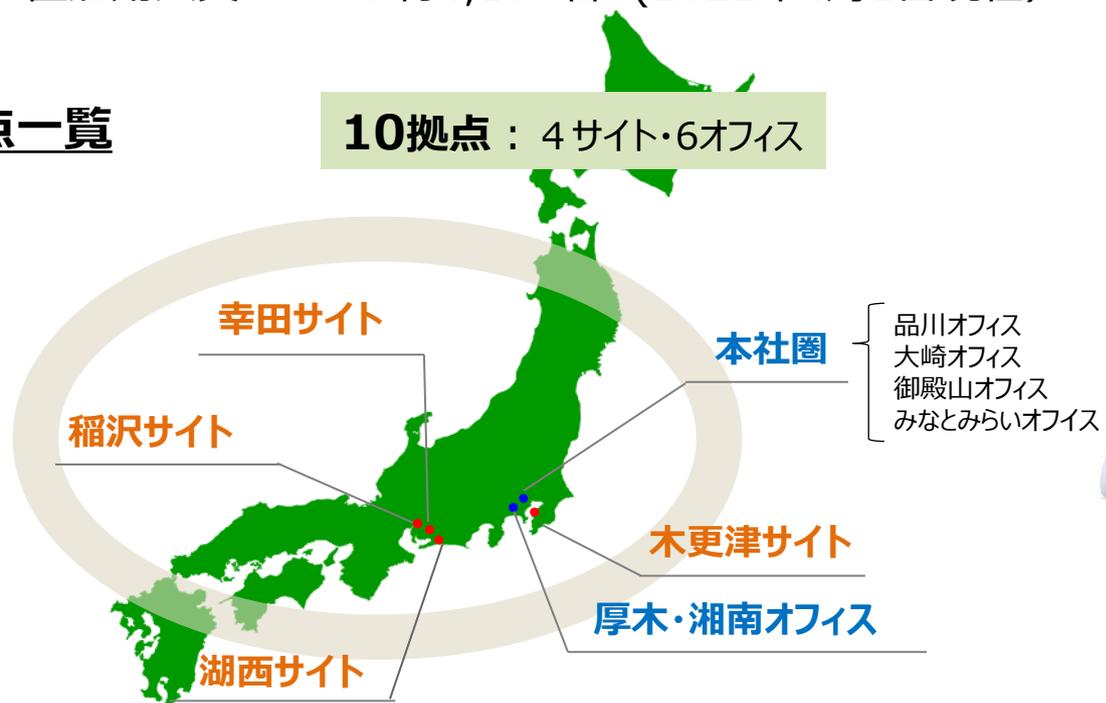
ソニーグローバルマニュファクチャリング & オペレーションズ (株) <SGMO>

会社概要

- 設立 : 2016年4月1日
- 本社所在地 : 東京都港区港南1-7-1
- 代表取締役 : 内田 順
- 資本金 : 1億円 (100%ソニー(株)出資)
- 売上高 : 2,292億円 (2021年度実績)
- 直雇用人員 : 約4,100名 (2022年4月1日現在)

拠点一覧

10拠点 : 4サイト・6オフィス



事業内容



商品設計



要素技術



設計支援技術



包装設計技術



生産技術



製造



実装



カスタマーサービス

主な生産品目



ソニグループにおけるSGMOの特徴補足 (海外支援)

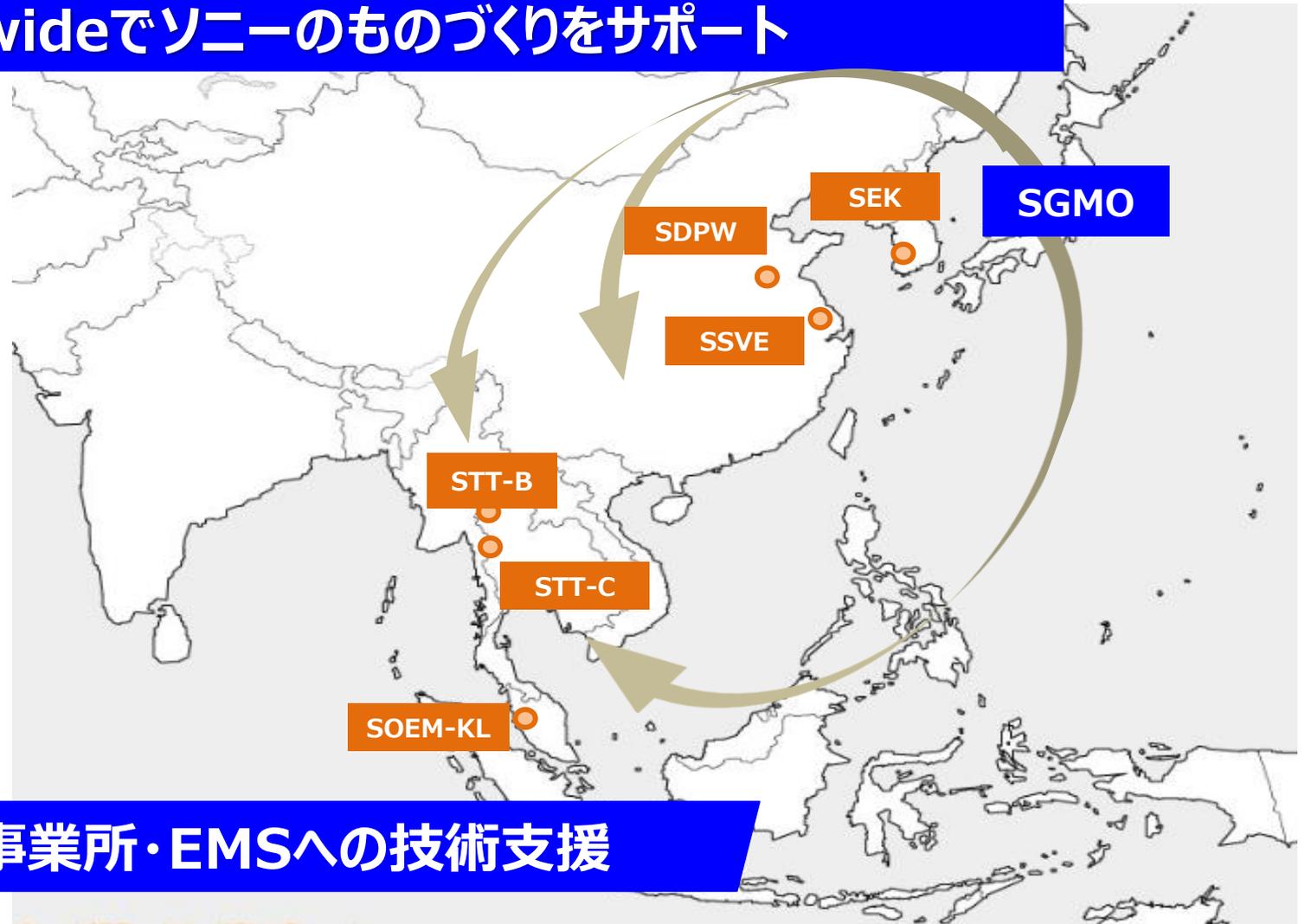
Worldwideでソニーのものづくりをサポート

新製品立上支援

リファレンスライン

各種技術支援

人材派遣



海外事業所・EMSへの技術支援

SGMO 各拠点の機能

**木更津サイト
(千葉県)**

- ・カスタマーサービス
- ・EMCリファレンスサイト
- ・SIE, FeliCa生産
- ・オーディオ関連デバイス

**湖西サイト
(静岡県)**

- ・プロフェッショナル・業務用
機器及びデバイス生産
- ・メディカル機器生産

**幸田サイト
(愛知県)**

- ・デジタルイメージング
機器及びデバイス生産
- ・新規事業商品生産

**稲沢サイト
(愛知県)**

- ・実装センター機能
- ・テレビ生産

**みなとみらいオフィス
(神奈川県)
(ソニーシティみなとみらい)**

本社機能

- ・調達、物流/IPO事業
- ・モバイル製造技術、
生産技術、部品技術、
設計技術 他

カスタマーサービス

EMC リファレンスサイト

イメージング &
モデリング・サービス事業

PlayStation

FeliCa, 非接触ICカード
リーダー/ライター

放送局/製作用
カメラ

編集機器
・システム

デジタルシネマ
プロジェクター

プリズム

ドローン

医療用機器

フローサイトメーター

レンズ
成形・加工

デジタルスチルカメラ

交換レンズ

新規事業

超精密機械加工

実装センター機能

超高密度実装

実装技術開発

大型TV

OLED TV 4K HDR

**御殿山オフィス
(東京都)
(ソニー御殿山
テクノロジーセンター)**

- ・商品設計

- ・映像・音響・情報処理・
通信機器等の
開発・設計
- ・製造 (委託・導入)

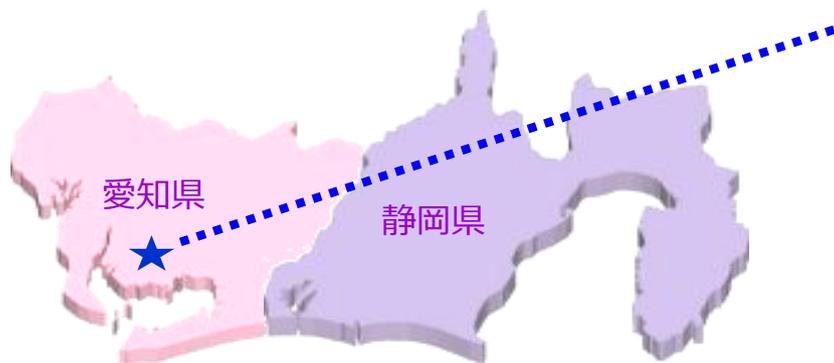
**湘南オフィス
(神奈川県)
(ソニー湘南テック)**

- ・電源ビジネス
- ・設計技術
- ・VAIOユーザーサポート

各種電源事業

- ・ACアダプター
- ・充電器

幸田サイト 敷地概要



所在地：愛知県額田郡幸田町
大字坂崎字雀ヶ入 1

敷地面積	170,000㎡
延べ床面積	80,000㎡

敷地面積：約17万㎡ ※ドーム3.5個分
延床面積：8万㎡



東京ドーム 46,755㎡

Bird-eye view 幸田サイト



弊社のOECMの特徴

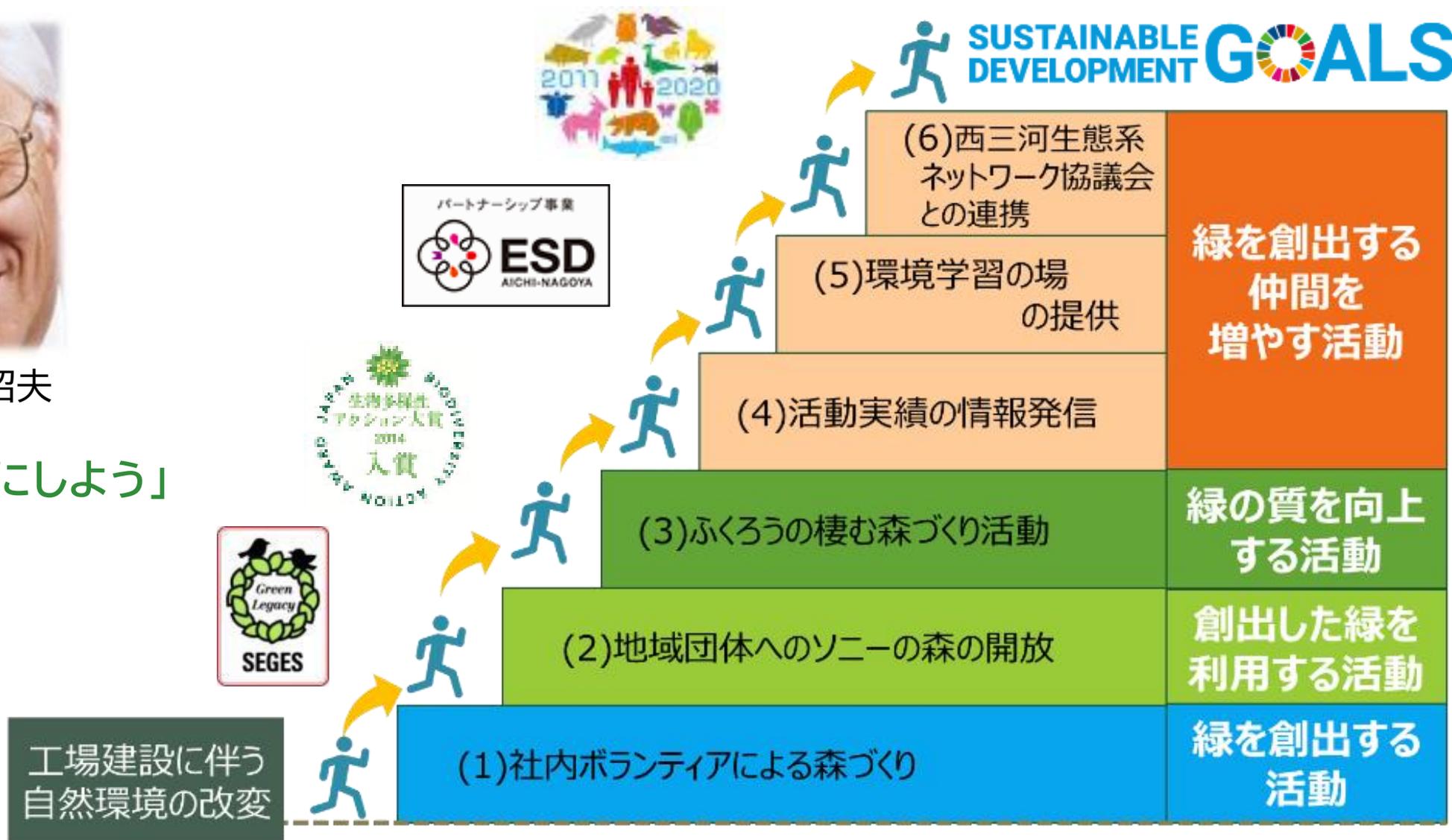
(社員による森づくりから、仲間を増やす活動へ)

企業緑地の再生とその活用を通じた地域貢献を目指して

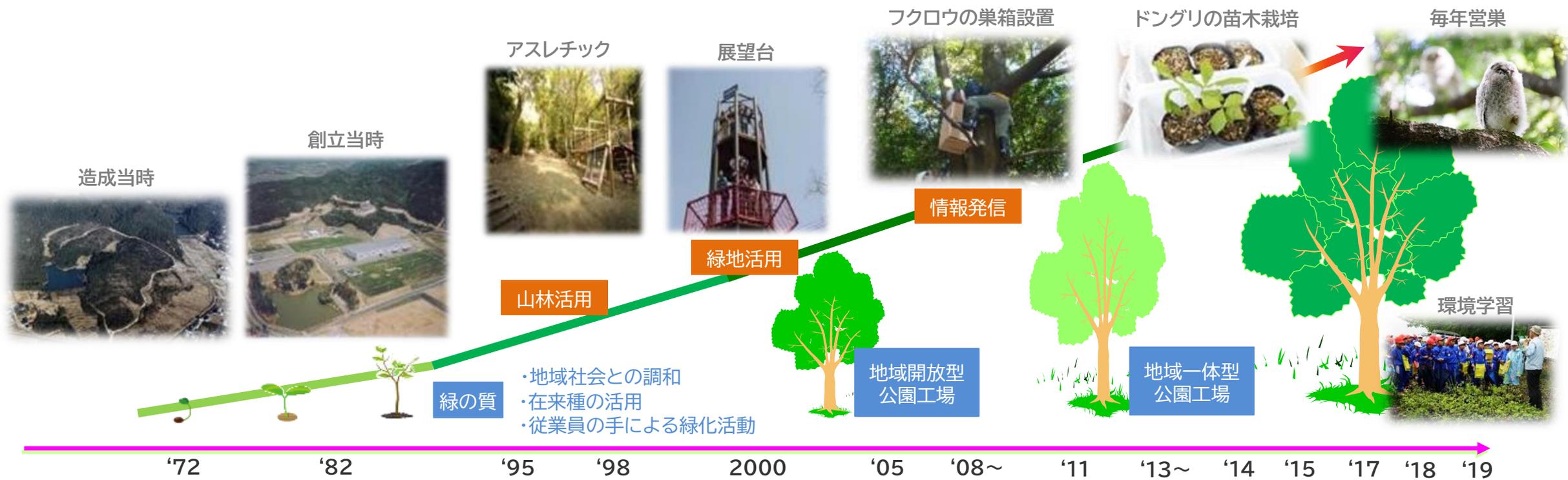


創業者 盛田昭夫

「緑の公園工場にしよう」



ソニーの森 活動の変遷



1期
緑地整備

2期
緑地整備

3期
緑地整備

山林保護
活動開始

ソニーの森
部分開放

ソニーの森
全面開放

フクロウの棲む
森づくり

ドングリ苗木
プロジェクト



社員主導の
活動へ



Excellent
Stage2認定



Superlative
Stage認定



緑の殿堂 認定

SEGESの認証(社会・環境貢献緑地評価システム)

特徴 1 社員による森づくり

社員緑化学習の様子

- ・ 緑地の管理方法を学び独自の管理方法をつくり出す

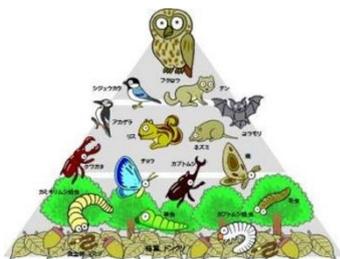


社員による森の整備

- ・ 森の基盤整備



特徴 2 ふくろうの棲む森づくり



フクロウを選んだ理由

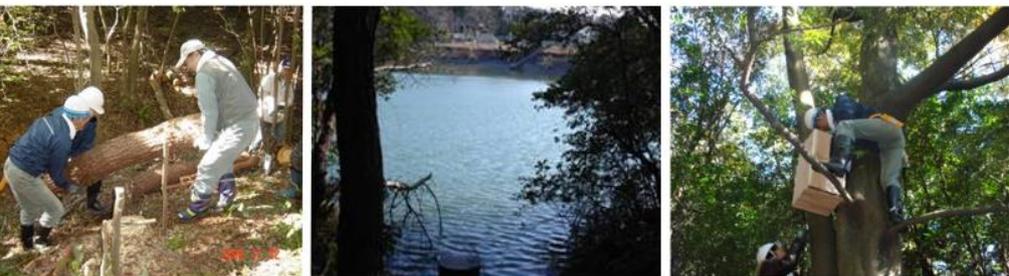
豊かな森には、生態系の頂点にいる猛禽類がいます。
小動物の棲家や餌があり、またその下に続く生態系豊かなピラミッドが成り立っている証です。
我々は、三河地区に棲んでいるフクロウに着目し、「不苦勞」と人々に親しまれていることもあり、「フクロウの棲むもりづくり」活動を初めました。

フクロウの棲む森づくり

- ・フクロウが巣箱から池まで滑空できる空間づくり



チェーンソー、のこぎり、ナタなどを使って樹木を間伐、森に光と風を入れる。また小動物の住みかとなるヤドを設置



フクロウの森 整備風景



間伐材を使って階段づくり



樹木の間伐



間伐材を運ぶ



道具のメンテナンス

特徴 3

仲間を増やす

地域への開放

・アスレチック、展望台



・里山の恵み



しいたけ

タラの芽

アケビ



タケノコ

クリ

カブトムシの幼虫

地域との連携

・行政と地元大学との連携活動



「かがやけ★あいちサスティナ研究所」の学生研究員の皆さんが「ソニーの森」で環境活動を実践（2017/07/14）

6月25日（日）、今年6月に始動した愛知県主催による第3期「かがやけ★あいちサスティナ研究所」（以下、サスティナ研究所）の環境実践活動が、幸田サイトにて開催されました。これは、パートナー企業の現場で環境活動を体験し、今後の研究活動へとつなげることを目的としたもので、当日はあいにくの雨の中、第3期研究員の学生40名と、「チーム・ソニー」を含む第1期・第2期のメンバー、愛知淑徳大学の環境系ボランティアおよび愛知県環境部の関係者など合計約70名が集い、「ソニーの森」で自然観察会と、ふくろうの巣箱作りを行いました。（レポート：稲沢広報 守屋 実）



・どんぐり苗木プロジェクト



・森に落ちていたどんぐりを拾い、虫が食べていない良いものをポットに植えました。大きくなったら、「松」や「アト」が枯れてしまったところに植えます



①どんぐり拾い →ソニーの森でどんぐりを集める
②どんぐりの選別 →集めたどんぐりを水につけて底に沈んだものを選別する。
③土づくり →肥料や土をブレンドする。
④植え替え →カップに土を入れ、どんぐり(3つ)を植える



●毎年11月に育成した苗木を持って天使の森の植樹に参加



自然共生サイトを通じた期待

(現在の課題)

現在の課題

課題認識

活動の核となる創業時メンバーの退社(世代交代)



今までと同じように社員による森の活動の継続の危機



核となる母集団の再形成が必要

対応取組

必須

STEP 1 基盤教育

- 入社1年目の新人を対象とした環境の基礎教育とソニーの森の現場視察を取り入れた教育 ※入社3年目までを目安の縦の関係性を深めるイベント企画としても検討の余地あり

自発参加

STEP 2 参加促進+学びのイベント

- より多くの社員の参加者を促す為に従来とは異なった魅力ある企画により、楽しさと学びを両立させたイベントをSGMO全体で開催する

STEP 3 森の維持管理に関する教育

- 幸田の森の維持管理に関する改善や、提案などの意見交換を通じて、森を守ることの重要性についての理解を得ると共に、森の維持管理作業に段階的に参加してもらえる場を設ける。

継続的な実施と教育、活動内容のスパイラルアップを図り計画

STEP1 新入社員に対する基盤教育

地球環境やビジネスを取り巻く社会的な取組、グループの取組などを教育

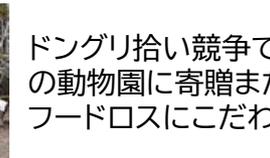


同日に森の散策やドングリの苗木植え付け作業を体験

STEP2 社員・家族向けイベントへの開催(気づき、学び)



森のウォークラリーなどの環境体験だけではなく、ノルディックウォーク講習も交えた健康促進イベントに。



ドングリ拾い競争で集めたドングリは地域の動物園に寄贈また、昼食にも地産地消やフードロスにこだわった食材を利用



森の恵みを活用した工作では、親子でカトラリー等も製作



弊社活動の課題と自然共生サイトを通じた期待

課題認識

活動の核となる創業時メンバーの退社(世代交代)
↓
今までと同じように社員による森の活動の継続の危機
↓
核となる母集団の再形成が必要

対応取組

必須

STEP 1 基盤教育

・入社1年目の新人を対象とした環境の基礎教育とソニーの森の現場視察を取り入れた教育 ※入社3年目までを目安の縦の関係性を深めるイベント企画としても検討の余地あり

自発参加

STEP 2 参加促進+学びのイベント

・より多くの社員の参加者を促す為に従来とは異なった魅力ある企画により、楽しさと学びを両立させたイベントをSGMO全体で開催する

STEP 3 森の維持管理に関する教育

・幸田の森の維持管理に関する改善や、提案などの意見交換を通じて、森を守ることの重要性についての理解を得ると共に、森の維持管理作業に段階的に参加してもらえる場を設ける。

継続的な実施と教育、活動内容のスパイラルアップを図り計画

活動の本質 ≡ 維持継続

活動の活性化には、多くの社員に気づきの機会を設ける事が重要

- ・魅力あるイベントや活動の自由度拡大
- ・注目(地域開放のフリー化など)

自然共生サイトを通じた他企業とのコミュニケーション、ベンチマークひいて協業などで、自社の活動に対する尺度をブレイクスルーしていきたい

活動の継続には、認知と肯定が必要

- ・情報の発信
- ・インセンティブ
- ・自然共生サイトを通じて、自社の活動を発信いただく事で、より多くの認知と必然性を確立させていきたい
- ・今後、増加が予測される環境コストに寄与するスキームの検討

SONY

SONYはソニー株式会社の登録商標または商標です。

各ソニー製品の商品名・サービス名はソニー株式会社またはグループ各社の登録商標または商標です。その他の製品および会社名は、各社の商号、登録商標または商標です。